



芝小だより

5月号

令和4年4月28日

発行者 港区立芝小学校

〒105-0014

港区芝2-21-3

[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)

FAX:03-3456-3071

「子供たちの活力源は・・・」

校長 川原 哲郎

今年も、校庭で活動する子供たちの頭上を「こいのぼり」が風になびく季節になりました。早いもので、子供たちが入学・進級してからもうすぐ一か月が経とうとしています。1年生もずいぶん学校生活に慣れてきました。登校後、6年生が朝の支度の手伝いをしていましたが、今では手伝い無しで素早く準備ができる子が増えてきました。休み時間も、元気に校庭で遊んでいます。進級した他の学年の子供たちも、新しい気持ちで頑張ろうという思いが伝わってきます。クラス替えがあった学年も、新しいクラスに慣れ、落ち着いて学習や運動をしたり、休み時間友達と元気に遊んだりしている姿が見られます。

「子供は、人の間で揉まれて育つ」と言われることがあります。集団で活動する学校は、まさに「人の間で揉まれる場所」です。子供たちの普段の学校生活を見ているとそのことがよく分かります。自分の言いたいことや気持ちがあまく相手に伝わらず、言い争いになったり、けんかになったり、仲直りしたりして人間関係をつくっていきます。譲り合う気持ち、我慢すること、辛抱すること、友達と協働することの楽しさや喜びなど、多くのことを学びます。学校は、いわば小さな社会です。集団の中でしか学べないことや経験できないことが、数多くあります。そして、こうしたことがこれからの社会を生きていく子供たちにとって、大切なものだと思います。最近、苦手なことや面倒なことに粘り強く取り組むこと、我慢することなどを苦手とする子が増えているように感じます。このような課題の改善に向け、学校としての役割もあると思っています。

こうした子供たち一人一人の育ちの根底になくはないものは、家庭の愛情により育まれた安心感、安定感です。子供は、愛されている、認められているという安心感からさらなる自信や意欲をもち、周りの人とかかわり、友達のよさに気付いたり、自分のよいところに気付いたりして大切にしようとしていきます。そしてそのことが、粘り強く取り組む心や我慢する心を育てていきます。家庭は活力源です。芝小の子供たちが、自分に自信をもち、学校で友達と共に学び、共に競い合う中で成長してほしいと願っています。

5月中旬からは、運動会の練習が始まります。友達と力を合わせることで、心一つにすることなど、多くのことを学び心身ともに成長する機会です。子供たち一人一人を認め、励ましながら取り組んでいきます。子供たちが元気に登校できるよう、御家庭での健康管理等もよろしく願いいたします。

5月生活目標「ものを大切にしよう」

「学習用具をそろえましょう」

学校では、いろいろな学習用具を使います。鉛筆、定規、コンパス、下敷き、教科書、ノート…たくさんあります。学習のために必要なものをそろえましょう。自分の持ち物を大切にするために、自分の持ち物にはすべて名前を書きましょう。

4月12日、今年度1回目の避難訓練を行いました。今回は震度5の地震を想定した訓練でした。どの学年も真剣に取り組むことができました。



(生活指導主任 松崎直子)

学びの部屋

～1年生の教室から～

入学式から約1ヶ月。朝の支度や給食の準備・片付けなど、この1ヶ月でたくさんのことができるようになりました。少し難しいことにも、諦めずに挑戦しています。「自分でやってみる。」「もう1年生だから!」と、やる気いっぱいです。

授業中は、各教科を通して話の聞き方や発表の仕方についても学んでいます。教わった通りに真っ直ぐ手を挙げ、指名されると嬉しそうです。子供たちの意欲を大切に、丁寧に指導していきます。



(1年担任 三山明子 古西桃子 中川奈穂)

特別支援教室の通級及び学習支援員の配置（令和4年度2学期）の申込みについて

平成28年度から、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行う特別支援教室「芝っ子ルーム」を開室しております。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補う個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は5月13日（金）までに、学級担任、特別支援コーディネーター、または副校長に御相談ください。

(特別支援コーディネーター 佐藤 智子)